

令和6年度 群馬県地域年金事業運営調整会議 議事要旨メモ

開催日時：令和6年10月8日（火）14:00～16:00

開催場所：群馬県市町村会館 8F「特別会議室」

出席者：委員9名

日本年金機構 事務局9名

1. 開 会 前橋年金事務所副所長
2. あいさつ 北関東・信越地域部長
3. 委員・日本年金機構職員 紹介
4. 議 事

議題1 地域年金展開事業について

議題2 令和5年度 群馬県地域年金展開事業の事業実施報告について

議題3 令和6年度 群馬県地域年金展開事業の事業実施計画について

資料1 地域年金事業運営調整会議資料（群馬県）

事務局より資料1について説明。

議題4 国民年金保険料の納付状況等について

資料2 【群馬県】令和6年度運営調整会議資料(国民年金納付率)

事務局より資料2について説明。

議題5 ポスターコンクールの開催について

資料3 「第1回群馬県年金ポスターコンクール」リーフレット等

事務局より資料3について説明。

5. 主な意見・要望等

議題1について

意見・質問なし

（事務局）

4ページの地域年金展開事業の概要の左上、相談・サービス推進部となっているが、今月から事業推進統括部に変更された。これまでの取組の中で基幹業務と密接な関係性を持たせることにより、良い取組が出来るという考えのもと変更となった。次回より資料を変更する。

議題2について

（委員）

教育機関への制度説明会等の取り組みについて。我々も教育機関への取り組みを考えているが、アプローチはどのようにしているのか。また、どのような形で依頼、要請があるのか。

(事務局)

年度当初に教育関係機関へセミナー協力依頼。校長先生OBによる学校訪問、電話勧奨。特別支援学校については保護者の方から要請がある。

(委員)

7ページ、エッセイ募集にかかる応募状況はどうか。
学校で行う年金セミナーでイデコに係る説明もされているか。

(事務局)

エッセイ募集に係る群馬県の応募状況について、次回より件数を計上する。

(事務局)

全国年金委員研修ではイデコについての研修を取り入れている。厚労省と機構の職員が講師となる。厚労省では研修を実施しているが、現場ではまだ弱い。機構の組織として足並みを揃えてやっていこうという状況には至っていない。今後、検討したい。

(委員)

1日合同研修会の相談件数が少ない。広報等必要ではないか。

(事務局)

総務省の行政評価事務所からの依頼による参加。行政のワンストップサービスとして実施している。

議題3について

(委員)

地域型年金委員との連絡会の開催状況は。

(事務局)

上期は実施済。下期は今後、実施を検討。

(事務局)

地域型年金委員であれば近所で年金について悩んでいる人がいれば、必要最低限の知識を持って簡単な助言をしていただく。年金委員研修会、連絡会はとても重要と考えている。

(委員)

年金機構との連携で、令和5年度の事業に社会保険労務士と行政機関の年金委員の委嘱という部分がある。年金委員を社会保険労務士会で推薦という実績は無い。年金機構の応援団という形で年金委員を委嘱しているということだが、年金委員の活動、必要性がわかってい

ない。

（事務局）

社会保険労務士に地域型年金委員をお願いするという発想が全国である。ただ、温度差が県によって全然違うのが実状。積極的にアプローチし、年金委員になっている代表的な県が鹿児島県。社会保険労務士会に協力をお願いし、この方々が委員で、会員の中で更に増やしたいため、会の方も協力していただけないか。という方法で、しっかり連携しながら進めている。進めるのであれば、その方法でやるべきだと考えている。年金委員の活性化という意味で、社会保険労務士になっていただくのは、一つの有効的な方法だと本部でも考えている。

議題 4 について

（委員）

国民年金の納付率について、資料の 2～3 ページで、令和元年度分最終納付率が全国 78.0%、群馬県 77.9%、令和 3 年度分は全国 80.7%、群馬県 80.3%と 0.4%剥離。直近では全国 83.1%、群馬県 82.5%と 0.6%剥離と年々全国との剥離が広がっている。改善が図られつつ、全国平均を下回っていることが心配されるところ。群馬県の特徴的な納付率の向上を阻む課題があれば教えていただきたい。

（事務局）

課題の一つとして、群馬県は外国人が比較的多い県になっており国民年金加入者が増加傾向にある。また、外国人の学校に全国から多数来県しているという状況もあり、前住所地で国民年金の加入手続きがされていない方が群馬県内に住所を移した時に初めて加入手続きを行う方が一定数いる。前から加入しなければならなかった人が加入手続きをして、24 か月分の未納が現れる方もあり、このようなケースを極力減らしていくのが一つの方策と考えている。これだけで納付率がどの程度下がったか数字的に把握はできていない。企業、学校に対する勧奨を徐々に進めているというのが現状。群馬県の特徴の中の一つではないかをご説明させていただく。

（委員）

外国人の未納が問題ならば、解消するうえで外国人に関わる行政機関や行政部署の方に委員に入っていて、また、委員になっていただかなくても意見等を聞きながら進めてもいいのでは。コメントは結構ですが検討いただきたい。

議題 5 について

（委員）

群馬県年金ポスターコンクールは開催 1 年目ですが、60 作品の応募があったと報告をい

ただいた。かつてのような応募件数にはなっていないが継続実施し、中学校の夏休みの宿題テーマとして定着化されていけば、かつてのような応募件数になると思う。

(事務局)

各機関にご支援いただきながらやっていく所存です。かつて群馬県は700件くらいの応募数があったと聞いている。今回初めて行いましたが、福島県の開催方法を参考にさせていただきました。今後も皆様方のご支援をいただきながら進めていきたい。